

アイダグループ行動指針

制定実施 2003年10月14日

このアイダグループ行動指針はアイダエンジニアリンググループの役職員全員が、「成形システムビルダとして、グローバルに発展し、人と社会に貢献する企業であり続ける」という企業理念のもと、社会的責任を自覚し、企業活動を遂行して行くうえで拠り所とすべき考え方をまとめたものです。

従って、私たち全員がこの指針に基づいて日常業務を行なっていくことが重要です。そして、ここに記載されていない問題や自分だけでは判断できない問題が発生した場合には、直属の上司やコンプライアンス管理者に相談してください。

1. 社会的ニーズへの貢献

私たちは、質の高い企業活動を通じ社会的ニーズに応えて行くために最大限の努力をします。

- (1) 私たちは、全世界のお客様に満足していただける高品位・高品質の商品・サービスを提供するために最大限の努力をします。
- (2) 私たちは、成形システム分野におけるリーディングカンパニーとしての誇りをもち、国際社会における企業市民としての責任を認識し、世界各国・各地域で健全な業務運営を行ないます。

2. 法令とその精神の遵守

私たちは、法令とその精神や倫理を遵守し、フェアな姿勢で常に誠実な企業活動を実践して行きます。

- (1) 私たちは、会社の利益と倫理が相反するときは、必ず倫理を優先するようにします。
- (2) 私たちは、コンプライアンスを遂行する上で問題に直面した時、自由・活発な議論を通じ、積極的に解決策を見出して行きます。
- (3) 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは断固として対決して行きます。

3. 全ての関係者を尊重

私たちは、企業活動の遂行にあたり、お客様、株主、お取引先、地域社会をはじめとする全ての関係者を尊重し、社会の健全な発展に貢献します。

- (1) 私たちは、あらゆる関係者の尊厳と基本的人権を尊重し、人間尊重の精神にあふれた企業風土を築き上げます。
- (2) 私たちは、お客様・お取引先との健全で透明な関係を維持します。
- (3) 私たちは、経営方針や業績など、株主、投資家を始めとする関係者の方々が必要とする情報を適切に開示し、企業活動の透明性を高めます。

(アイダグループ行動指針)

(4) 私たちは、グローバル化時代にあって、様々な文化的伝統や風習を尊重し、地域社会の発展に貢献します。

4. 環境を尊重した事業活動の推進

私たちは、企業活動を遂行する上で常に地球環境を保護していくように努めます。

(1) 私たちは、省資源、省エネルギー、低振動・低騒音等に配慮した商品開発を促進します。

(2) 私たちは、環境の維持・改善を意識した企業活動を行い、リサイクルの促進、廃棄物の削減に努めます。

5. 機密情報の適正使用と知的財産の尊重

私たちは、機密情報や知的財産の重要性を理解し、適切な管理を行ないます。またアイデアにおける知的財産の創造に努めます。

(1) 私たちは、企業や個人の機密情報を厳重に管理します。これらについて不正に入手、利用、漏洩をしません。

(2) 私たちは、特許・ノウハウなどの全てのアイデアの知的財産の創造・活用に努めます。

6. 社員の尊重と環境整備

私たちは、一人一人の社員を個人として尊重し、全員が安全に、それぞれの能力を十分に発揮できる職場環境作りに努めます。

(1) 私たちは一人一人が高い倫理観をもって自主的・自律的に行動します。

(2) 私たちは、お互いに人権・人格を尊重しながら業務を行い、常にコンプライアンスの遵守、職場の安全、業務の効率向上、品質の改善を目指し、何でも自由に話し合える自由闊達な職場を築きます。

付録「参考資料」

1. 「コンプライアンス」とは・・・

コンプライアンス (Compliance) とは「遵守」という意味の英単語ですが、近年、企業の間では「法令遵守」という特別な意味をもつ専門用語として使われています。

日本においてコンプライアンスが特別な言葉として最初に定着したのは金融業界であり、1995年に発覚した大手金融機関海外支店での事件以来、次々と不祥事が発生したこの業界で、再生をかけたキーワードの一つとして使用されるようになりました。その後、自動車、食品、電力などの様々な業界で不祥事が続発し、企業倫理の巨額損失問題に世の中の厳しい目が向けられるようになる中で、コンプライアンスへの重要性が広く認識されるようになってきています。

「コンプライアンス」は、「法令遵守」と訳されますが、法令だけの概念にとらわれない企業倫理や経営管理などの社内ルールや倫理・道德規範といった幅広い概念を含んでおります。一般的には「社会秩序を乱す行動や社会から非難される行動をしないこと」とされています。

2. 今、「企業倫理・コンプライアンス」が求められる理由

グローバル化そして社会の価値観の変動など、近年、企業を取巻く環境は急激に変化してきており、その結果、企業倫理・コンプライアンスが破られることによる実害が非常に大きくなっています。例えば、不祥事等により、これまで築き上げてきた企業イメージが失墜するだけではなく、その企業自体が存続できなくなるようなケースも出てきています。コンプライアンスを守らないことによるリスクが、企業の経営だけでなく、社員の生活にも大きく影響してしまうことがわかります。

このようなリスクを未然に防ぐため、コンプライアンス活動が必要とされるのです。即ち、企業、そしてその構成員たる役職員の一人ずつが不正を排除し不祥事を防ぐ、という意識を持って、コンプライアンス活動を進めてゆかねばなりません。